

Domaine Roger Sabon

ドメヌ ロジェ サボン

パーカーが認める五つ星生産者

ロジェ・サボンは、シャトーヌフ・デュ・パプの傑出した五つ星生産者としてロバート・パーカーを始めとする様々なメディアから高い評価を受けています。シャトーヌフ・デュ・パプにおけるサボン家の歴史は古く、記録に残る最も古い土地所有者の一族として、1540 年から代々この土地でブドウ畑を運営してきました。ロジェ・サボンが自身の名を冠したドメヌを設立したのは 1952 年で、現在は、ロジェの息子ドゥニとジルベールがワイナリーの経営を引き継いでいます。ドゥニの子供であるデルフィーヌとジュリアンもワイナリーに参加し、家族一丸となって優れたワインを生み出しています。

2001 年からは、今は亡きロジェの 3 人目の息子ジャン・ジャック・サボンの養子ディディエ・ネグロンが醸造責任者としてワイン造りを担い、ドゥニとその息子ジュリアンがブドウ栽培を担っています。現在、ドメヌは AOC シャトーヌフ・デュ・パプに 18ha (14 区画)、リラックに 12ha、コート・デュ・ローヌに 6ha、ヴァン・ド・フランスの区画を 14ha 所有しています。有機肥料を用いたリュット・レゾネ(減農薬)方式でブドウを栽培し、自然の力を最大限に引き出したテロワールの表現を大切にしています。

【写真:右から若き日のディディエ、ジュリアン、ジャン・ジャック】



《ヴィノス 2023/4 掲載記事より抜粋 / 記者: Nicolas Greinacher》

テクニカル・ディレクターのディディエ・ネグロンは、常にトップを走り続け、表情豊かでしっかりとした骨格を持つ、熟成ポテンシャルを秘めたワインを手掛けている。この温暖な地中海性気候下において AOC 規定内で、エレガントさとフレッシュさを保つにはどうすべきか様々な意見を交わした。ネグロンはワイン造りに関して収穫日を見極め、全房発酵を行い、サンソーのようにフレッシュな酸と低いアルコール度数を持つ品種に重きを置いている。2020 年と 2021 年の赤 4 本と 2021 年の白 1 本を試飲した。チャレンジングな年となった 2021 年の赤は洗練されており、心地良いが、よりコクと複雑性を備えた 2020 年に軍配があがる。

【写真右:醸造責任者ディディエ・ネグロン】



■2019ヴィンテージ情報■ 2019年は、7月の熱波の影響で果汁の量が少なく、低収量の年となりました。それでも白ブドウの一番搾り果汁に関しては、2018年の収量にほぼ匹敵する量が得られ、白ブドウ果汁全体としての収量も前年に極めて近いものとなりました。この年の白ブドウは、酸のバランスが美しく趣があり、偉大な白ワインとロゼを生み出すことを可能としました。発酵過程においては、多大な労力を要しましたが、品質の高いワインが生み出される年となるでしょう。黒ブドウに関しては、予想通り低収量で、若木は平年比30~40%の収量減となりましたが、古木のブドウに関しては秀逸で、殆ど減収は見られなかったものの、果汁量が少なかったため、黒ブドウ全体の収量は予想を下回る結果となりました。

■2021ヴィンテージ情報■ この年のローヌ地方は、霜、雨などに見舞われた厳しい年となりました。穏やかな冬に続いて、春は霜が降り、一部の畑ではその被害を抑えるため、生産者達がロウソクに火を灯し、気温の低下からブドウの樹を守ろうとする様子が見られました。7~8月は雨が多くカビ等が発生した地区もありました。しかしながら、こうした難しい環境の中でも生産者達による丹念な畑作業により、上質なワインが出来ました。この年は、しっかりとしたストラクチャーを持ちながらもエレガントさを備えたフレッシュでフルーティな味わいの特徴です。

■2022ヴィンテージ情報■ 2022年の冬と春は暖かく、非常に乾燥し、雨不足が続きました。また、夏は日射量が多く、気温が高くなり、潜在アルコール度数の上昇が懸念されました。しかしながら、8月中旬~9月にかけて降った雨が、ブドウの樹の活力を引出し、ブドウの成熟を促進しました。結果として、2021年よりも約20日早く成熟を迎えましたが、美しい色合いと芳醇なアロマを兼備したバランスの良いワインに仕上がりました。

■2023 ヴィンテージ情報■ 冬の間は雨があまり降らなかったものの、5~6月は適量の雨が降りました。続く夏は暑く乾燥し、ブドウの成長が進みました。収穫は8月中旬~10月末まで続き、平均32-35hl/haと豊作の年となりました。白ワインは、柑橘類、桃、マンゴーなどの豊かな果実のアロマとバランスの良い酸を備えています。赤ワイン用のシラー、サンソーは瑞々しい黒果実の風味とストラクチャー、グルナッシュ、ムールヴェードルは、ラズベリーなどの赤果実、滑らかなタンニンを備えたワインに仕上がりました。この年は、赤白ともに繊細で、微かに塩味を帯びた持続性のある味わいの特徴です。

2023 Chateauneuf du Pape Renaissance Blanc

上代価格 ¥8,300(税別)

シャトーヌフ デュ パプ ルネッサンス ブラン

JAN: 4543190180498

【辛口/白】 品種:ルーサンヌ 35%、グルナッシュ・ブラン 30%、クレレット 20%、ブルブルーラン 15% Alc.:13%前後

土壌:粘土石灰質、砂質 醸造:早朝の最も涼しい時間帯に手摘みし、空圧で優しく圧搾。容量 25hl の円錐形の木製タンクで 16~18℃に保ちながら低温発酵。同じタンクで澱とともに寝かせ、定期的にバトナージュを施しながら 6 ヶ月熟成。

★相性料理:アスパラガスのクリーム・スープ、仔牛肉、茸、辛口チーズやロブスター、魚介類。7~8 年ほど熟成させたルネッサンスは、フォアグラなどとも抜群の相性です。食前酒としても秀逸です。(提供温度:10℃前後)

■コメント■ エレガントで複雑味のあるアロマが特徴の白ワインです。外観は灰かに青みを帯びた美しい黄白色。フランジパン(パイ生地)にアーモンドクリームを挟んだガレットの一種)、よく熟した白果実、ヘーゼルナッツの香りを主体とする香り豊かなアロマが感じられます。ジュシーで丸みのある味わいで、灰かな蜂蜜の香りを帯びた余韻の長い後味が広がります。

★ジェームス・サックリング 93 点:鮮やかで芳醇なアロマを持つ丹念に作られたワイン。イエロー・プラムやホワイト・アーモンド、白い花、ハニー・サックル(スイカズラ)、フェネルを思わせるアロマが香る。フローラルなミディウムボディ。中盤に快活でフレッシュな噛み応えのある味わい広がる。後味に洋ナシとホワイトアーモンドのニュアンスが広がる。今飲んででも熟成させても美味しく味わえる。

《飲み頃:2024/6/17 掲載》



2019 Vin de France Rouge Plaisir 75cl

上代価格 ¥2,400(税別)

ヴァンド フランス ルージュ プレジール

JAN: 4543190156820

【辛口/赤】 品種:グルナッシュ 70%、マルセラン 30% 醸造:ブドウは手摘みし除梗。15 日間マセラシオン。フルーティな果実味を保持するため、発酵中の温度は 24℃に保ち、定期的にルモンタージュし澱引き。主にタンクで熟成。Alc.:15%前後

■コメント■ 外観は深みのある深紅色。樟脳や洋酒に漬けた果実、新しいなめし皮のアロマが豊かに香り、ミネラル香やスモーク香が滑らかでしなやかな質感を持つ熟れたタンニンを心地よく引き立てています。比較的酒齢の若いうちが飲み頃。

★相性料理: サラダやグリルで焼いたお肉などとよく合います。



2022・2023 Rhone by Roger Sabon

上代価格 ¥3,000(税別)

ローヌ バイ ロジェ サボン

JAN: 4543190177238

【辛口/赤】 品種:グルナッシュ 80%、シラー10%、サンソー10% Alc.:15%前後 醸造:ブドウは手摘みし除梗。15 日間マセラシオン。発酵中の温度は 24℃に保ち、エレガンスとボディのバランスをとるため、ルモンタージュは毎日行います。樽とタンクで熟成。

■コメント■ 紫色を帯びたフルーティなワインで、ヴァニラや甘いリコリスのアロマが香り、ブラックチェリーを思わせる果実味が高いタンニンを包み込んでいます。リリース直後から楽しめる味わいですが、3〜4 年程の熟成で更に格別な味わいへと成熟してゆきます。

★相性料理: 前菜やバーベキュー、グリルで焼いた肉と非常に良く合います。(提供温度:15〜17℃)

2018VT★ワイン・スペクテーター87 点: 鮮やかなチェリーやブラックベリーを思わせる果実のアロマが軽やかなセイボリーやラヴェンダーの香りと共に溶け合い、柔らかに継ぎ目の開いたフレッシュな後味を生む。スケール感はやや中ぶりだが、生き生きとした活力が感じられ、伸びやかで長い余韻が広がる。今が飲み頃。《2019 年掲載》



2023 Lirac by Roger Sabon

上代価格 ¥4,200(税別)

リラック バイ ロジェ サボン

JAN: 4543190180481

【辛口/赤】 品種:グルナッシュ 70%、シラー10%、ムールヴェードル 10%、カリニャン 10%

アルコール:14〜15%前後 土壌:粘土・石灰岩質 醸造:ブドウは手摘みし除梗。発酵中の温度は 28℃前後に保ち、フレッシュな果実のアロマと抽出成分のバランスをとっています。マセラシオンはおおよそ 1 ヶ月と長めにとり、定期的にルモンタージュを施しながらゆっくりとタンニンを抽出。ワインの殆どはタンクで熟成させる。収穫から 8〜9 ヶ月後に瓶詰。

■コメント■ 外観は紫色を帯びたルビーレッド。バタースコッチや下草、腐植土の香りが表情豊かに香ります。円熟したタンニンを湛えたスパイシーな味わいを持つエレガントなフルボディ。酒齢の若いうちは赤果実や黒果実の風味に溢れ、熟成と共にスパイス、森の大地、胡椒の風味が表れてきます。★相性料理: ハムや赤身の肉、牛乳から作る様々なチーズ。(提供温度:16〜17℃)

2018VT★パーカーポイント93 点: 2018 年のリラック・バイ・ロジェ・サボンは、2016 年のリラック(PP91 点評価)よりも更に見事な仕上がりにある。繊細なベリー系果実の香りが背景に広がる薫り高くフローラルなアロマが飲み始めから香る。クリーミーでしなやかな味わいのミディアム〜フルボディで、余韻の長い後味が続く。筆者はこのワインを試飲する前に 40 以上のリラックをブラインド・テイステイングしたが、それでも尚、「痺れるように感動的な逸品である」とノートにしたためた。10 年近くにわたり格別な飲み頃が続くに違いない。

《飲み頃:2019-2027 年 | 2019/11/1 掲載》 2018VT 他誌評価★ワイン・スペクテーター89 点



2022 Châteauneuf du Pape Rouge Les Olivets

上代価格 ¥7,000(税別)

シャトーヌフ デュ パプ ルージュ レ オリヴェ

JAN: 4543190181761

【辛口/赤】 品種:グルナッシュ 80%、シラー10%、サンソー10% Alc.:15%前後 醸造:ブドウは手摘みし除梗。発酵中の温度は 28〜30℃、マセラシオンの期間は約 1 ヶ月と長めにとっています。毎日定期的にルモンタージュし澱引。その後ブレンドし、容量 40hl の大型の木製キャスクか容量 25hl の木桶、容量 600L の木樽で 18 ヶ月熟成。

■コメント■ 外観は鮮やかに輝くルビー色。トーストや毛皮、肉汁や下草の香りが感じられ、円熟したタンニンとよく熟れたブラックチェリーの風味が口内を満たします。10〜20 年の長期熟成が効くワインで、赤身や白身の肉と良く合います。

★ジェームス・サックリング 93 点: ダークベリーやダークプラム、ドライハーブ、湿った石を思わせる香りを持つ。精巧でバランスの取れたシリアスなシャトーヌフ。きめ細やかなしっとりとしたタンニンを持つフルボディ。しっとりとした骨格と質感に加えてスパイシーさもある。果肉感のある、焦点の定まった味わい。《飲み頃:2026 年以降 | 2024/6/17 掲載》

★ヴィノス91-93 点: 生肉、リコリス、イチゴのコンポートのアロマが漂う。ミディアム〜フルボディ。スパイシーで肉付きの良い味わいをしっとりとしたタンニンが縁取り、風味豊かな味わいで締めくくられる。馴染むまでもっと時間が必要だ。

《飲み頃:2027-2040 年 | 2024/6 掲載》

他誌評価★ワイン・スペクテーター93 点



2022 Châteauneuf du Pape Rouge Réserve

上代価格 ￥8,300(税別)

シャトーヌフ デュ パプ ルージュ レゼルヴ

JAN: 4543190181778

【辛口/赤】 品種:グルナッシュ 80%、シラー10%、ムールヴェードル 10% 樹齢:60~75 年 Alc.:15%前後 土壌:粘土石灰質 醸造:手摘みで収穫・除梗。発酵中の温度は 28~30℃。マセラシオンは約 1 ヶ月。定期的にルモンタージュし攪引。ブレンド後、40hl の大型の木製キャスク、25hl の木桶、600L の木樽で 18 ヶ月熟成。★相性料理:赤身肉や白身肉のローストやソース和え、マッシュルーム、パノン・チーズなど。

■コメント■ 外観は鮮やかに輝くルビー色を湛え、グリーンオリーブや腐葉土の香りが鼻腔に香ります。肉厚で温かみのある味わいで、モレロチェリーを思わせる果実味にシルキーでフレッシュなタンニンが感じられます。南仏の太陽とミストラルの影響を強く受けた力強く温もりのある味わい。20 年以上の長期熟成が効く男性的でパワフルなワインです。

★ヴィノス 92-94 点:森のイチゴやリコリス、ブラックチェリー、生肉、スミレを思わせる香りが全面に感じられる。広がりのある長い余韻で締めくくられる。フルボディでしっかりとしたタンニンを持つ 2022 年は、馴染むまで少なくともあと 5 年がかかるだろう。

《飲み頃:2029-2042 年 | 2024/6 掲載》

★パーカーポイント 93+点:鉛筆やリコリス、スパイス、黒色のワイルド・ベリー、新鮮なタイムを思わせる濃密で深みのあるアロマを持つ。凝縮感のあるミディアム〜フルボディで、完璧なバランスを備え、ピロードのようなタンニンが中盤の重層的な味わいを支えている。塩味のある長い余韻で締めくくられる。この力強いシャトーヌフ・デュ・パプが真価を発揮するまで、まだ時間がかかるだろう。《飲み頃:2025-2044 年 | 2024/9/27 掲載》

★ジェームス・サックリング 93 点:チェリーやレッドベリー、温かいハーブ、ベーキングスパイス、石を思わせる、緻密かつ見事に構成されたアロマを持つ。きめ細やかなしっかりとしたタンニンを備えたフルボディ。ダークチェリーや青果実の豊潤な果実味が中央に広がる。焦点の定まった生き生きとした味わいで、果肉感とともにシリアスさを感じる。持続性のある余韻が印象的。《飲み頃:2026 年以降 | 2024/6/17 掲載》

他誌評価★ワイン・スペクテーター 93 点



2021 Châteauneuf du Pape Rouge Prestige

上代価格 ￥11,000(税別)

シャトーヌフ デュ パプ ルージュ プレスティージュ

JAN: 4543190177269

円やかで芳醇な味わい、しなやかな質感と力強いパワーが溢れるゴージャスなシャトー・ヌフ・デュ・パプ。20~30 年は熟成の効く極めて長寿なワインで、飲む者全てを魅了してやまないエレガントな味わいは、人生の楽しみとは何であるかを教えてくれます。

【辛口/赤】 品種:グルナッシュ 70% シラー20% ムールヴェードル 5% その他 5% 樹齢:90 年以上 土壌:赤い小石を含む粘土・石灰岩質 Alc.:14.5~15%前後 醸造:ブドウは手摘みし除梗。発酵中の温度は 28~30℃に保ち、マセラシオンは約 1 ヶ月と長くとって色素とタンニンを抽出。40hl と 25hl の大型のキャスクで 18 ヶ月熟成。

★相性料理:獣肉や赤身肉など旨味のある料理や、牛乳から作るチーズなど。(提供温度:16-17℃/要デキャンタージュ)

■コメント■ 外観は鮮やかに輝くルビー・ガーネット色。煮詰めた赤いベリー系果実のリッチでエレガントなアロマに、トーストや甘いスパイス、黒いオリーブの香りが感じられます。美しく調和のとれた温かみのある味わいで、タイトに引き締まったタンニンがパワフルな力強さを添えます。熟成が進むにつれトリュフやなめし皮の香りを帯びてゆきます。偉大な熟成ポテンシャルを備えたワインですが、デキャンタージュすれば酒齢の若いうちからもお楽しみいただけます。

★パーカーポイント 95 点:レゼルヴほどの開放感と華やかさはないものの、非常に良く熟し、凝縮感がある。ブラックチェリーやプラムの香りにダークチョコレートニュアンスが溶け合う。フルボディの豊かな味わいは、ピロードのように滑らかで、非常に心地よい。

《飲み頃:2023-2040 年 | 2024/5/17 掲載》

★ヴィノス 93 点:熟したラズベリーやレッドチェリー、ブラックチェリー、リコリス、ガリーグの繊細な香りが溶け合う。非の打ち所がないバランスと見事な透明感を湛えた味わい。《飲み頃:2025-2036 年 | 2023/4 掲載》 他誌評価:★ジェームス・サックリング 92 点

★ワイン・スペクテーター 93 点:生き生きとした透明感のある赤ワインで、プラム、チェリーやハーブグリの香りに塩やヨードのニュアンスが溶け込み、紅茶や焼いたハンノキの香りが長い余韻に広がる。持続性のあるタンニンが味わいを引き締める。《飲み頃:2025-2032 年 | 2024/2/29》

